

第49期(上半期)

ビジネスレポート

2017年4月1日～2017年9月30日

ITで未来を創る
～ 私たちの挑戦～



株式会社 セゾン情報システムズ

証券コード:9640



代表取締役社長

内田 和 弘

新たなスタート地点に立つための 組織変革の取り組みに一層注力

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より当社の経営に対し多大なるご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

課題解決に向けた変革に着手

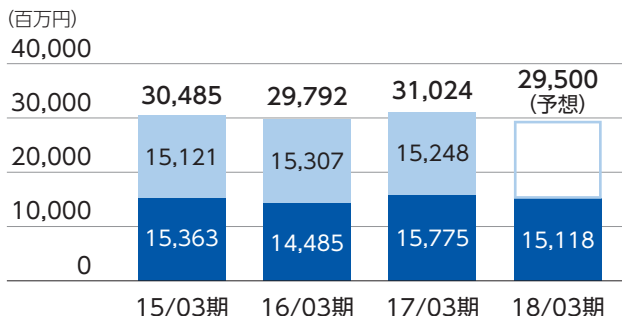
当上半期は、2015年3月期に発生した、カードシステム事業における大型システム開発案件の開発遅延等に係る問題を受け、「技術力・開発力の向上」「プロジェクトマネジメント力の改善・強化」「上意下達な閉鎖的な組織風土の改革」への取り組みに一層注力しました。

その中で、私自身がもっとも注力したのは、現場の社員との接点を増やし、コミュニケーションをとることです。とにかく現場のメンバーと自分との距離を縮め、会社の新しい方針がしっかり届いているのかを確

認し、また、現場の意見を聞く活動を通じて、課題を具体的に認識し、知恵を出し合いクリアしていく姿勢を示してきました。

さらに、私が座長となり、お客様満足度向上委員会の活動を開始したほか、ドレスコード廃止と同時にマナー委員会を発足し、何でも言い合える雰囲気作り、オープンな組織風土へと変えられるよう社員とのランチミーティングを開くなど、直接のコミュニケーションを繰り返すことで、現場から自発的に声を発しても

連結売上高推移



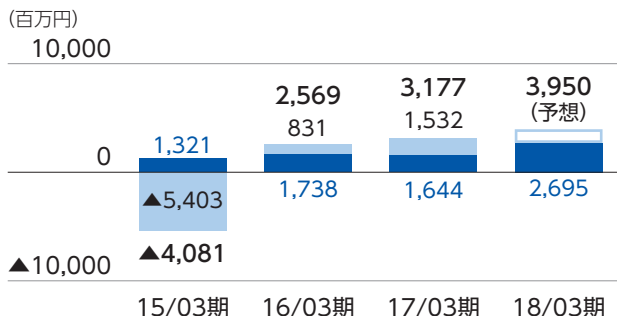
らえるようにする、そうしたことに取り組んだ半年となりました。

技術力を客観的に測るスキルサーベイや社員の特性を測る社員アセスメントも実施しました。毎年実施している社員満足度調査や、この1年半に実際に私が感じてきた部分と合わせ、来年以降のフォーメーションに役立て、4月より本格的に新たなスタートを切れる体制にしたいと考えています。

納得感・達成感を味わえる 仕事へ進化させることに期待

当上半期の業績は、売上高も利益も計画を上回っての着地となりましたが、各事業部ともに達成感は小さ

連結経常利益推移



いのではないかと思います。中期ビジョンに掲げた「カテゴリートップの具現」に向けて夢を語り、自分たちで策定した事業計画の進捗が思わしくないからです。

これまでは、結果よければすべてよしという風潮がありましたが、業績好調の状況でさらに課題が浮き彫りになったという認識が生まれているのは、非常にいい傾向だと思います。結果は目標を達成している、だがまだできていないことがあるということは、それらができれば、もっと成長できるということです。

そのため、上半期が終わった時点で、施策の見直しや組織変更など修正を行いました。下半期は各事業が目指す活動を実践したうえで成果も出し、納得感・達成感を味わえるか、楽しみにしています。

カードシステム事業

売上高 **80.0億円**
(前年同期比 +1.9%)

利益 **18.9億円**
(前年同期比 +77.7%)

流通・ITソリューション事業

売上高 **21.6億円**
(前年同期比 ▲11.1%)

利益 **▲0.0億円**
(前年同期比 —)

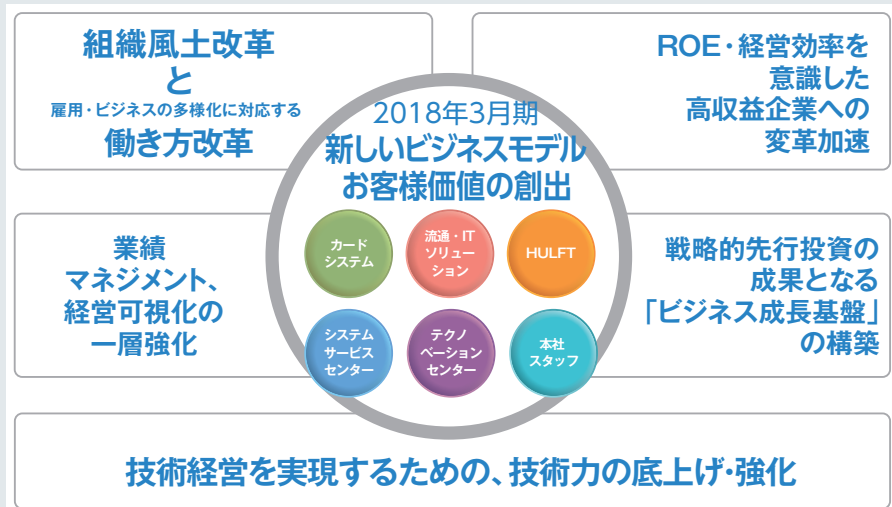
HULFT事業

売上高 **36.1億円**
(前年同期比 +2.2%)

利益 **6.7億円**
(前年同期比 ▲9.2%)

中期経営計画の 課題認識

当社では「新しいビジネスモデル」と「お客様価値の創出」を柱とした「カテゴリーリーディングの具現」を中期ビジョンに掲げて、右図の5つの課題を7つの重点施策に落とし込み、事業活動に取り組んでおります。



また、従来顕著であった事業部ごとの縦割り文化を打開する活動を進めています。例えば、テクノベージョンセンター内に創設したブロックチェーンラボを中心に研究開発を進めている、ブロックチェーン技術を使った宅配ボックスは、流通・ITソリューション事業部、カードシステム事業部、HULFT事業部も加わった合作であり、こうした組織間の協働を今後も拡大させていきたいと考えています。また、HULFT事業では、米国での新製品の実証実験開始に続き、7月には、英国ロンドンにEMEA（ヨーロッパ、中東、アフリカ地域）事務所を開設し、来期以降、本格的にグローバルでビジネスができる基盤整備も進んでいます。

働き方改革・一体感の醸成を推進

中期経営計画の重点施策として掲げる職場環境の刷新として、11月にオフィスを移転しました。これまでおよそ650人の社員が、池袋、江戸川橋の2カ所6フロアに分散しておりましたが、オフィスを1カ所に統合することで、事業部ごとに異なっていた業務プロセスすべての統一化、品質の向上、生産性向上につながるだけでなく、一体感を醸成したいという狙いがあります。また人材の流動性も高められ、フレックスやテレワークの活用と合わせ、より多様な働き方を選ぶことができるようになり、働き方改革の一助にもなると考えています。仕事は決して1人でできるものではなく、チームでするものです。私はオフィスというのは会社方針を表す場であり、持続的にイノベーションを

生み出す触媒の役割を果たす可能性があることから、会社にとってコストではなく、投資と考えています。オフィスは、仲間やお客様との出会いの場であり、つながりを醸成できる空間であり、知恵やアイデアが生み出される場であり、さらにはホッとできる空間、様々な不安や課題を解消できる空間、それから多くのことを気づかせてくれる場でもあると思います。移転により環境が変わり、新しい気づきや発見があり、意識も変わり、行動が変わり、仕事に対する考え方も変わり、働き方も変わってくれると期待しています。

株主の皆様へ

行動指針「SISCO WAY」を定義しました。～お客様と“伴”に～と、伴侶の伴の文字を用い、終生のパートナーとして互いを認め合い、役割と責任を持ち切磋琢磨しながら、“伴”に成長させていただきたいという思いを込めています。

SISCO WAY ～お客様と“伴”に～

① Customer First

お客様、お客様のお客様の立場で考え、行動する

② Keep Your Words

あらゆる関係における信頼とひとり一人の責任

③ Timely Communication

ステークホルダーとのタイムリーな情報シェア

④ Good Manner(Professional Behavior)

人としての真摯な立ち振る舞い、日々人間力を磨く

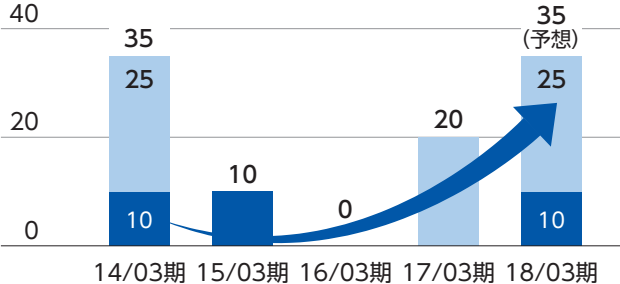
⑤ Challenge & Speed*

俊敏な自発的、自燃的行動による自己革新

※Speed：通常のスピード（Speed）を超えるスピード（Speed）を表しています。

配当推移

(一株当たり/円)



このSISCO WAYをベースに、課題の改善・強化に取り組み、自らを高める意識のある組織風土を醸成していき、その結果、志高い人が集まってくる会社にする事で、さらなる事業成長を目指したいと考えています。

株主還元については、今期は4期前と同水準の配当ができる見通しとなっています。現在は再建途上にあるため、まずは財務基盤の回復を優先させていただき、以降は方針に沿った配当を続けていきたいと考えています。また、株価そのものも正当に評価していただけるようにしたいとの思いから、広報活動にも力を入れています。当下半期は、来期より本格的に新たなスタートを切るための仕上げを施し、さらなる成長ビジョンを描く活動を継続していきます。

引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

カードシステム事業



カードシステム事業部長

大沢 隆

大型クレジットシステム開発の本番稼働に向け、当社対応領域のシステム開発の品質確保を事業部一丸となって取り組んでおります。また、新たな領域へのビジネスの拡張・社会的意義のある価値創出のために、お客様事業部門と連携し、マシンラーニングなどの新たな技術を適用したサービス提供の実証実験、迅速なビジネス戦略の実現をするためのIT基盤としてパブリッククラウドの活用、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)を活用した業務の効率化などの検討を開始しております。

下半期は、大型システム開発の本番稼働、安定的なサービス提供に向け、準備を進めてまいります。新たな領域へのビジネスの拡張に向けた活動では、マシンラーニングやブロックチェーン、パブリッククラウド、RPAなどの技術を活用し、お客様や社会に貢献できるサービスの創出を継続してまいります。

HULFT事業



HULFT事業部長

葉山 誠

HULFTは、多種多様なプラットフォーム間データの「つなぐ」を支援しており、安定性重視の既存・クローズド領域「モード1」だけでなく、スピードと柔軟性重視の革新・オープン領域「モード2」への対応も進めています。このMFT(Managed File Transfer Suites)カテゴリーで2016年世界シェア2位※ですが、日本発ソフトウェアとして、グローバルIT市場で「世界一」ポジションを目指します。

当期は、アプレzzoとの商流統合によりDataSpiderが伸長する中で、IoT/クラウドとグローバル展開に注力し、期初に2つ部署を新設。「市場開発営業部」では、IoT/クラウド領域における新たなパートナーとエコシステムを形成しながら、製造業を中心に多くのPoCを実現。更にIoT接続検証の迅速化のためIoT PoC Labを開設し、パートナーとの協働展開事例も数多く生み出してきています。「グローバル企画開発部」は、海外事業を加速させるために社内の精鋭を集め新設した製品企画部門。4月には新たにEMEA事務所をロンドンに設立いたしました。

下半期には、北米市場向け新製品のβ版をリリースし、北米事業を更に加速化させます。また、HULFT事業の次世代化を推進する新商品の開発を進めており、来期以降にその全容を公にする予定です。

※注釈 Gartner "Market Share: All Software Markets, Worldwide, 2016" 14 April 2017 2016 Worldwide Revenue of Managed File Transfer Suites

流通・ITソリューション事業

上半期は過去より取り組んできました「つなぐ・連携・ビッグデータ」に関連するConcur、STORESなどのソリューションビジネス拡販における取り組みを加速し、各ソリューションとも順調に拡大する事が出来ております。加えてブロックチェーン×宅配BOXなど市場訴求力のある新たなソリューションサービスの研究開発にも積極投資し、PoCを推進するなど成果を上げる事が出来ました。今後もお客様の既存IT領域と、これらの新サービスを融合させ、新たな領域への積極提案を行ってまいります。

●研究開発のご紹介

お客様各社は蓄積されたデータのBIツールによる分析や、データマイニングなどに多くの時間とコストを費やしてきました。しかしながら消費動向の多様化に伴い、それらの分析方法では期待した成果が得られず、新たなテクノロジーを活用したデータ分析ニーズが高まっております。弊社が研究しているソリューションサービスでは、求める成果に必要なデータを投入するだけで、今まで気付かなかった事実を統計学に基づき見える化出来る画期的なソリューションサービスです。下半期の商品化に向けて取り組んでまいります。



流通・ITソリューション事業部長

久井 康史

業 介

システムサービスセンター

お客様の大切な情報をお預かりしているシステムサービスセンターでは、中期ビジョン「サービス提供型運用へのシフト」に向けて、「マルチクラウド運用」の取り組みにも注力しています。

お客様のご要望に合わせた最適なサーバ環境を速やかにご提供できるよう、上半期はAWS、Azureを中心としたパブリッククラウド技術者育成に注力してまいりました。実際の環境を使って構築、運用のtrial&errorを積み重ねると共に、AWS、Azureの高度認定資格取得にも挑戦し延べ11名が合格、クラウドの環境構築、運用技術が大幅に向上しました。現在ご提供しているクラウドサービス“SAISOS(サイソス)”にパブリッククラウド環境が加わることで、安心・安全・安定かつModernなマルチクラウド運用をご提供いたします。

今後は、クラウド環境構築の自動化(Infrastructure as Code)、システムオペレーションの自動化(Software Defined Operations)の具現化を進め、お客様のビジネススピードを更に加速する運用サービスをご提供できるよう進化させてまいります。



システムサービスセンター長

花香 勝

社会をつなぐセゾン情報システムズ ～こんなところで活用されています～

世界と



データのやり取りを

銀行と

BANK ATM

HULFT

Ca
Syst

クレジットカード会社と



工場で



センサーを使った監視を

お店と



品物の受発注を

お金のやり取りを

ard
tem

Retail&IT
solution

倉庫と



お店の在庫管理を

カードの発行を

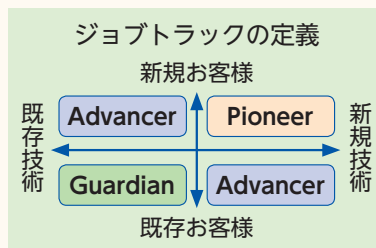
D COUNTER

セゾン情報システムズの働き方改革

働き方改革とは、国を挙げた取り組みであり、当社においても、社員がより一層いきいきとトをご紹介します。

ポイント① 人事プログラムを変えました

従来、職種別等級別に役割を定め、目標設定とその達成度で評価を行ういわゆる目標管理制度を施行していました。その仕組みを見直し、新たな人事プログラムとして、マルチジョブトラックという概念を設けました。事業の創出期から安定期までのどの段階で貢献したいかを選択し、ビジョンの達成に向けて個人が自ら達成したいことを表明し、実行する仕組みです。



ポイント② 仕事の時間の使い方を変えました

ワークライフバランスの向上を目的に、自宅業務ができるテレワークや営業など直行直帰のワークスタイルに適したモバイルワークの勤務制度を新たに設けました。さらに、フレックスタイム制度を施行し、業務時間を柔軟に設定できるようにしました。

ポイント③ オフィス環境を変えました

11/20に本社を移転しました。旧本社は離れた3フロア（21F、39F、47F）に分かれ、お互い行き来しづらいという状態にありました。新本社では連続した2フロアになり、また原則フリーアドレス（座席自由）という環境になります。事業部とスタッフのメンバーの交流を促し、連携度合いを一層高め、お客様によりよいサービスを提供できる環境に変更しました。

働くことができる会社をめざし改革を進めています。そのポイント



<社内の声>

- ・職種という概念をやめ、“マルチジョブトラック”という概念を導入されたことは、自分の特性を踏まえて将来設計を考えるきっかけとなりました。
- ・主観だけではなく客観的アセスメントも導入し、管理者サイドからも特性を踏まえたアサインメントができるよう、取り組みが進んでいます。

<社内の声>

- ・会議室でのミーティングが電話会議やチャット会議に代わるなど、コミュニケーションのあり方に変化の兆しが見られます。
- ・モバイルワークは非常に使いやすく、仕事の進め方が変わりつつあります。
- ・テレワークにより、子どもの学校の予定と兼ね合いがとれるようになりました。

<社内の声>

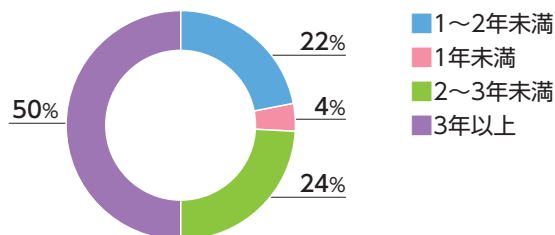
- ・フリーアドレスなので、お互いにどこにいても仕事の状況がわかるように、情報共有のあり方を考え直すきっかけになっています。
- ・開発者は開発環境が変わらないよう固定席を選択することが可能なので、心配なく業務に取り組むことができます。

株主スクエア

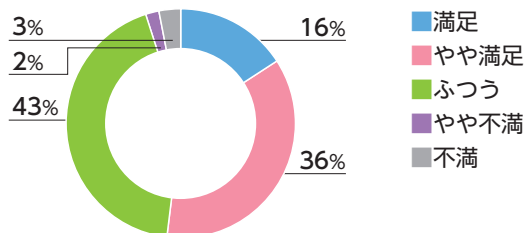
第48期ビジネスレポート送付の際に実施いたしました「株主様アンケート」にて、多くの株主様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。ここではアンケートの結果(抜粋)をご報告するとともに、特に多く寄せられたご質問に回答いたします。

アンケート調査結果 (ご回答数 303件)

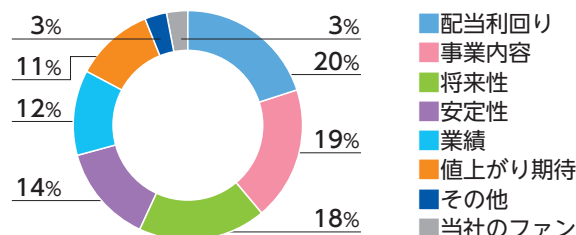
当社株式の保有期間



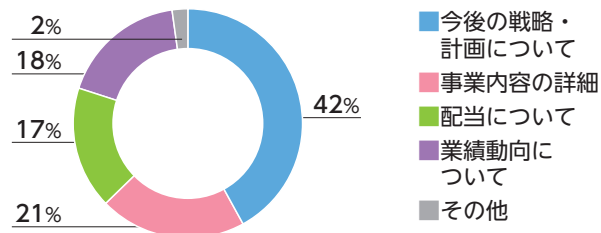
レポートの満足度



当社株式の保有理由



今後知りたい情報



3年以上の保有株主様が50%

ご回答いただいた株主様の50%が3年以上当社株式を保有されており、当社を長く支えていただいている方のご意見であると受け止めております。また、保有理由から配当や当社の今と将来にご期待をいただいているものと認識しております。

よりご満足いただけるレポートへ

ビジネスレポートに関しまして、過半数の方に満足、やや満足とご回答いただいた一方で、ふつうとご回答いただいた方も43%に上ります。知りたいとの声をいただいている情報を適切にお伝えできるよう、よりよいレポート作成をまいります。

Question 1

事業状況を詳細に教えてください。



毎回トップメッセージにて概況をご説明しておりますが、さらに今回のビジネスレポートでは、皆様に事業の今をお伝えできるよう、各事業のトップによる事業紹介の記事をご用意しました(→P.5～6)ので、是非ご覧ください。



Question 2

配当方針について教えてください。



当社では配当に関する基本方針を次のように定めております。

□業績との連動性強化

・連結当期純利益の3割前後を目安に配当いたします。

□安定配当

・万一の業績悪化時にも、1株当たり10円の配当金を維持するように努めております。

この度、2015年3月期以来となる中間配当の復配を行うことができました。今後も一層企業価値を向上し、株主の皆様へ還元することができるよう努めてまいります。

コーポレートサイト「IR情報」に、より詳細な情報も掲載しております。是非ご覧ください。
<http://home.saison.co.jp/ir/>



★ロンドンにEMEA事務所を開設しました

HULFT 事業の EMEAエリア(ヨーロッパ、中東、アフリカ地域)への展開を主な目的としたグローバル拠点として、英国ロンドンに EMEA 事務所を7月6日に設立いたしました。近年、インダストリー4.0、フィンテックなど 製造や金融分野の欧州企業による事業創造の動きが増加しており、新しい技術に関する情報収集、本社の研究開発部門へのフィードバック、お客様への支援体制充実を図ります。現在は、HULFT IoT、HULFT、DataSpider Servistaのパートナー様、お客様開拓に力点を置いて活動中です！



ロンドン郊外の閑静な場所に事務所を構えています

★先端技術を応用したビジネス開発に取り組んでいます

①HULFT IoT

すべての機器がネットワークにつながるこの時代、あらゆる機器からの情報を安全・確実に集約し分析等に活用できるHULFT IoTは、昨年の発表後多くのお客様に注目いただいています。実証実験のご要望も多く、社内に検証環境(PoCラボ)を用意しました。

②ブロックチェーン

「ビットコイン」をはじめとする仮想通貨を支える技術として注目された、すべての取引の記録を容易にできるブロックチェーン技術を利用して、当社の事業領域である流通や金融分野でのビジネス開発を専門組織を作って調査、研究開発を始めました！



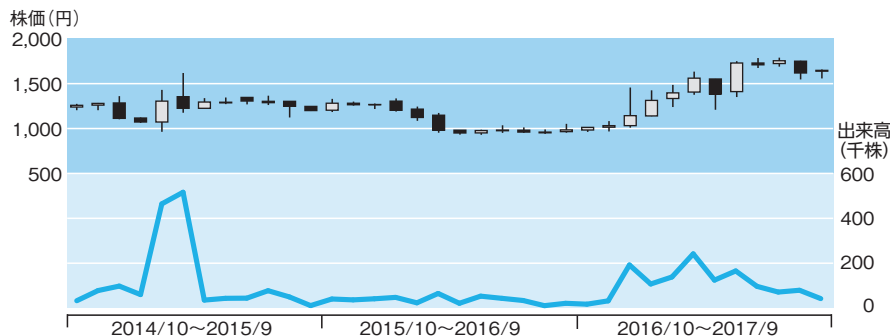
PoCラボではセンサーや通信機器を使い様々な実験をしています

株式情報 (2017年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式の総数 16,200,000株
株主数 3,889名

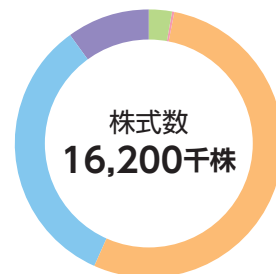
株価・売買高の推移



所有者別分布状況

株式分布状況

株主	%
金融機関	2.99
証券会社	0.31
その他の国内法人	53.60
外国法人等	33.28
個人その他	9.82



用語集

SISCO (しすこ)

SISCOとは当社のことを指し、**S**aison **I**nformation **S**ystems **C**o., Ltd.の頭文字をとっています。社内では当社のことを愛着を込めてSISCOと呼んでいます。

ブロックチェーン

データベースは一元化されることが一般的でした。それを複数のコンピュータに分散させ、つなげあって成り立つようにした技術をブロックチェーンと呼びます。改ざんがほぼ不可能であることが特徴です。

IoT(あいおーてい、Internet of Things)

全てがインターネットにつながる、という考え方をIoTと呼びます。例えば、スーパーの冷蔵庫温度など、人手で記録していたものがネットワーク経由で瞬時に入手できることが挙げられます。

PoC(ぴーおーしー、Proof of Concept)

先進技術を利用したソリューションなど、試すまでは効果を量ることができないものもあります。本格導入前に動作と効果を実証実験することをPoCと呼んでいます。

会社情報 (2017年9月30日現在)

会社概要

商 号 株式会社セゾン情報システムズ
SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD.

設立年月日 1970年9月1日

資 本 金 13億6,768万7,500円

従 業 員 数 1,195名(連結)、666名(個別)

本店所在地 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号

役員構成

代表取締役社長	内 田	和 弘
常 務 取 締 役	小 野	和 俊
取 締 役	土 橋	眞 吾
取 締 役	大 沢	隆
取 締 役	野 津	浩 生
取締役(非常勤)	川 野	忠 明 *
取締役(非常勤)	鈴 木	孝 一 *
常 勤 監 査 役	三 谷	宏 雄 *
常 勤 監 査 役	三 宅	信 一 *
監査役(非常勤)	小 川	憲 久 *
監査役(非常勤)	小 林	隆 博 *

* 社外取締役、社外監査役

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.

株式会社 セゾン情報システムズ

<http://home.saison.co.jp/>

関係会社の状況

株式会社フェス	資本金 : 6,000万円 出資比率 : 100% 事業内容 : 情報処理サービス
世存信息技术(上海)有限公司	資本金 : 2億円 出資比率 : 100% 事業内容 : ソフトウェア開発、 パッケージ販売
株式会社アプレッソ	資本金 : 2億6,700万円 出資比率 : 100% 事業内容 : ソフトウェアパッケージの 開発、販売、サポート
HULFT Pte, Ltd.	資本金 : 100万シンガポールドル 出資比率 : 100% 事業内容 : ソフトウェアパッケージの 販売促進
HULFT, Inc.	資本金 : 800万USドル 出資比率 : 100% 事業内容 : 北米市場向けの ソフトウェア開発、 パッケージ販売

株 主 メ モ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日
定 時 株 主 総 会 3月31日から3ヵ月以内
配当金受領株主確定日 3月31日及び中間配当を行う場合は9月30日
単 元 株 式 数 100株
株 主 名 簿 管 理 人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
同 事 務 取 扱 場 所 みずほ信託銀行株式会社
〔郵便物送付先〕 〒168-8507
〔電話照会先〕 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL : 0120-288-324 (フリーダイヤル)

